

》 今後対処すべき課題の整理

第4章の「現状と課題」や本章の「今後の事業環境」を踏まえた今後対処すべき課題は、次の表のように「水源・水質」「水道施設」「利用者サービス」「経営」「環境」の5つの区分に整理されます。

【図表24】札幌水道が今後対処すべき課題

区分	●は現状の課題、◆は今後の事業環境を踏まえた課題
水源・水質	<ul style="list-style-type: none"> ●水源の一極集中状態の改善 ●かび臭や油の流入のほか、異常気象等が原因となる急激な濁度上昇への対策 ●水質悪化を未然に防止するため、関係機関や水源域の事業者、市民との連携による水源保全の取組継続 ●浄水処理技術の向上など、水質管理の強化
水道施設	<ul style="list-style-type: none"> ●浄水場の改修工事中も安定給水を継続するために必要な供給能力の確保 ●フェンスや門扉などの改修による施設の保安強化の計画的な推進 ●耐震化のさらなる推進 ●業務継続計画（BCP）の推進 ●ブロック配水システムの機能向上 ◆人口減少社会の到来と水需要の減少に伴う施設規模の適正化 ◆施設の耐震化や多重化のほか、被災時に応急復旧のための資器材や浄水場で使用する薬品等を調達可能とする体制づくり ◆施設の大規模更新期の到来に伴う計画的な更新
利用者サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●小規模貯水槽水道の衛生管理の徹底 ●給水装置に起因する水質汚染の防止 ●給水装置の多様化による逆流防止対策の強化 ●問い合わせ対応や検針、料金支払い制度の改善 ●利用者の声を積極的に聞き取り、事業運営に反映させる仕組みの充実 ◆家庭での飲料水備蓄の推進など、災害の発生に備えた広報活動の充実
経営	<ul style="list-style-type: none"> ●給水収益の減少と事業費の増加 ●財務基盤の強化の継続 ◆施設の大規模更新期の到来に伴う財源や人的資源の確保 ◆ベテラン職員の退職に伴う次世代の担い手への技術継承 ◆関係団体の技術力や体制の維持 ◆道内の他水道事業体の課題解決に向けたニーズに応じた取組の推進
環境	<ul style="list-style-type: none"> ●再生可能エネルギーの活用 ◆低炭素社会や脱原発依存社会の実現に向けた取組の推進